

令和7年度

市道32号道路修繕工事

工 事 設 計 書

三浦市役所

都市環境部 土木課

位置図

施工箇所



令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)

設 計 書 番 号	年度 07	
事 業 所 名	三浦市	
(工事・業務)名	令和7年度 市道32号道路修繕工事	
(工事・業務)箇所	三浦市宮川町地内	
(河川・路線・区域)名	市道32号	
単 價 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分		
工 期		
設 計 金 額	(円) 円	
設 計 概 要	工事延長 L=17m 路盤工 A=90m ² アスファルト舗装工 A=91m ² 区画線工 L=27m	
(起工・変更)理由		

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)

<支出科目>

款	5
項	1
目	5
目の細目	
節	14

<合併区分情報>

合併処理設定	しない
	区分 1
	区分 2
	区分 3
	区分 4
	区分 5
	区分 6
	区分 7
	区分 8
	区分 9

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a) × (c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
		前回変更請負額(b2)				
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 07 年度 積 算 諸 条 件 調 書 (当初)

経費等情報	主たる工種	舗装工事
	施工地域・工事場所区分	市街地DID補正(1)－1, 2
	現場環境改善費計上区分	計上しない
	緊急工事による補正	補正しない
	前払金支出割合	35%を超える場合
	契約保証の方法	補正なし
	間接工事費率補正（上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合）	
	共通仮設費率補正	0.00%
	現場管理費率補正	0.00%
	一般管理費率補正	0.00%
	間接労務費・工場管理費計上区分	計上しない
	土木工事標準積算基準書 適用年版	令和07年7月1日適用
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和7年12月1日基準
	週休割増補正区分	月単位<現場閉所>
	ICT施工補正区分	補正しない

積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員B（昼間）	10	人日	交替要員含む

(その他情報欄)

三浦市

本工事費内訳書

(上段:前回 下段:今回)

費目	工種	種別	数量	単位	単価	金額	摘要
本工事費							
舗装				式			
			1				
舗装工				式			
			1				
アスファルト舗装工				式			
			1				第 0001 号 内訳書
直接工事費計				式			
			1				
共通仮設費計				式			
			1				
共通仮設費 (率分)				式			
			1				【千円止】
純工事費				式			
			1				
現場管理費				式			
			1				【千円止】
工事原価				式			
			1				
一般管理費等				式			
			1				
工事価格				式			
			1				【万円止】
消費税及び地方消費税相当額				式			
			1				10.00%

本工事費内訳書 (上段:前回 下段:今回)

第0001号 内訳書
アスファルト舗装工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 準備工		式			第0001号下内
	1				
(AMA0020) 土工		式			第0002号下内
	1				
(AMA0030) 舗装工		式			第0003号下内
	1				
(AMA0040) 区画線工		式			第0004号下内
	1				
(AMA0050) 仮設工		式			第0005号下内
	1				
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA0010 準備工

1 式 当り
適用年版 T0712

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB430510) 舗装版切断		m			第0001号単価表
	27				
(CB440500) 舗装版破碎積込(電線共同溝工)		m2			第0002号単価表
	91				
(CB227010) 殻運搬		m3			第0003号単価表
	4				
(Z132597000) 廃材処理料(東部地区) A S殻		m3			
	4				
合 計		式			
	1	式			円／式

第0002号 下位内訳書
AMA0020 土工

1 式 当り
適用年版 T0712

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210030) 床掘り		m3			第0004号単価表
	18				
(CB210110) 土砂等運搬		m3			第0005号単価表
	18				
(Z132597040) 廃材処理料(東部地区) 路盤材(上層・下層)		m3			
	18				
合 計		式			
	1	式			円／式

名 称	数 量	单 位	单 価	金 额	摘 要
(CB410010) 不陸整正		m2			第0006号単価表
	1				
(CB410040) 上層路盤(車道・路肩部)		m2			第0007号単価表
	90				
(CB410260) 表層(車道・路肩部)		m2			第0008号単価表
	91				
(CB410261) 表層(歩道部)		m2			第0009号単価表
	10				
(CB430310) 舗装版破碎		m2			第0010号単価表 段差摺付
	10				
(CB227010) 殻運搬		m3			第0011号単価表 段差摺付
	0.3				
(Z132597000) 廃材処理料(東部地区) A S殻		m3			
	0.3				
合 計		式			円／式
	1				

第0004号 下位内訳書
AMA0040 区画線工

1 式 当り
適用年版 T0712

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 領	摘 要
(WB821210) 区画線設置		m			第0012号単価表
	8				
(WB821210) 区画線設置		m			第0013号単価表
	19				
合 計					
	1	式			円／式

第0005号 下位内訳書
AMA0050 仮設工

1 式 当り
適用年版 T0712

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 領	摘 要
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第0014号単価表
合 計					
	1	式			円／式

第0001号 単価表 機労材構成比情報
CB430510 補装版切断

1 m 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)]			【損料】		M001161013
湿式 切削深20cm級 ブレード 径 φ56cm	M001161013				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
普通作業員					R0102
	R0102				
コンクリートカッタ(ブレード)					Z006540009
径18インチ	Z006540009				
カソリン					Z006704001
レギュラー	Z006704001				
標準単価		積算単価			
	1 m	当たり		円／m	
条件名稱	入力値		条件値		
J01 補装版種別	1		アスファルト補装版		
J02 アスファルト補装版厚	1		15cm以下		
J05 費用の内訳	1		全ての費用		

第0002号 単価表 機労材構成比情報
CB440500 舗装版破碎積込(電線共同溝工)

1 m2 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
バックホウ(クローラ) [超小旋回型・クレーン機能付き] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 1.7t吊	L001010010		【賃料】		L001010010
普通作業員	R0102				R0102
土木一般世話役	R0125				R0125
運転手(特殊)	R0114				R0114
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当たり			円／m2

第0003号 単価表 機労材構成比情報
CB227010 賃運搬

1 m3 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級	L001151001		【賃料】		L001151001
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m3	当たり		円／m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 賃発生作業	4		吹付法面とりこわし(モルタル)		
J02 積込工法区分	1		機械積込		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J12 運搬距離(km) (DID区間有)	13		12.0km以下		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0004号 単価表 機労材構成比情報
CB210030 床掘り

1 m3 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	M000202096		【損料】		M000202096
運転手(特殊)	R0114				R0114
普通作業員	R0102				R0102
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り			
条件名称	入力値		条件値		
J01 土質	1		土砂		
J02 施工方法	5		上記以外(小規模)		
J05 費用の内訳	1		全ての費用		

第0005号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オシロート・ディ・イーグル] 4t積級	MP03010020		【損料】		M000301002
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m3	当たり		円／m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 土砂等発生現場	2		小規模		
J02 積込機種・規格	5		バックホー山積0.28m3(平積0.2m3)		
J03 土質	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無	2		有り		
J14 運搬距離(km)(DID区間有)	11		12.0km以下		

第0006号 単価表 機労材構成比情報
CB410010 不陸整正

1 m2 当り
適用年版 T0712

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
モータグレーダ [土工用]			【損料】		M000701021
排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	M000701021				
ロートローラ [マカダム]			【賃料】		L001050002
運転質量10~12t	L001050002				
タイヤローラ [普通型]			【賃料】		L001060004
運転質量13~14t	L001060004				
運転手(特殊)					R0114
普通作業員					R0102
特殊作業員					R0101
土木一般世話役					R0125
再生粒度調整碎石					Z002125003
RM-40	Z002122003				
軽油					Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り			円／m2
条件名稱	入力値		条件値		
J01 補足材料の有無	2		有り		
J02 補足材料平均厚さ	9		46mm以上53mm未満		
J03 補足材料	9		再生粒度調整碎石 RM-40		
J04 費用の内訳	1		全ての費用		

第0007号 単価表 機労材構成比情報
CB410040 上層路盤(車道・路肩部)

1 m² 当り
適用年版 T0712

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
モーターゲーティング[土工用]			【損料】		M000701021
排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	M000701021				
ロードローラ[マカダム]			【賃料】		L001050002
運転質量10~12t	L001050002				
タイヤローラ[普通型]			【賃料】		L001060004
運転質量13~14t	L001060004				
運転手(特殊)					R0114
普通作業員					R0102
特殊作業員					R0101
土木一般世話役					R0125
再生粒度調整碎石					Z002125003
RM-40	ZP21250031				
軽油					Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m ²	当たり			円/m ²
条件名稱	入力値		条件	値	
J01 材料	8		再生粒度調整碎石 RM-40		
J03 1層当平均仕上厚 50mm以下			mm		
J04 1層当平均仕上厚50mm超100mm以下			mm		
J05 1層当平均仕上厚 100mm以下			mm		
J06 全仕上り厚(実数入力)	200		200 mm		
J07 施工区分	2		2層施工		
J09 費用の内訳	1		全ての費用		

第0008号 単価表 機労材構成比情報
CB410260 表層(車道・路肩部)

1 m2 当り
適用年版 T0712

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
アスファルトイニッシャ [ホイール型]舗装幅1.4~3.0m	L001210001		【賃料】		L001210001
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバイン式] 運転質量3~4t	L001070011		【賃料】		L001070011
タイヤローラ[普通型] 運転質量3~4t	L001060001		【賃料】		L001060001
普通作業員	R0102				R0102
運転手(特殊)	R0114				R0114
特殊作業員	R0101				R0101
土木一般世話役	R0125				R0125
再生アスファルト混合物 再生密粒度13mm 小型車割増	ZP41000030				Y001102000 -00001
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	Z004130002				Z004130002
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り			
条件名稱	入力値		条件値		
J01 平均幅員	3		1.4m以上3.0m以下		
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下			mm		
J03 1層当平均仕上厚 50mm超70mm以下			mm		
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50		50 mm		

J05 材料	35	各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)
J06 瀝青材料種類	2	アライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第0009号 単価表 機労材構成比情報
CB410261 表層(歩道部)

1 m2 当り
適用年版 T0712

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
振動ローラ(舗装用) [ハンドガード式] 運転質量0.5~0.6t	M000804001		【損料】		M000804001
振動コンバッタ[前進型] 機械質量40~60kg	M000807001		【損料】		M000807001
特殊作業員	R0101				R0101
普通作業員	R0102				R0102
土木一般世話役	R0125				R0125
再生アスファルト混合物 再生密粒度13mm 小型車割増	ZP41010040				Y001102000 -00001
ガソリン レギュラー	Z006704001				Z006704001
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当たり		円/m2	
条件名称	入力値		条件値		
J01 平均幅員	1		1.4m未満(仕上厚50mm以下)		
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	25		25 mm		
J03 1層当平均仕上厚 50mm超70mm以下			mm		
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下			mm		
J05 材料	23		各種(2.30以上2.40t/m3未満)		
J06 漆青材料種類	5		無し		
J07 費用の内訳	1		全ての費用		

第0010号 単価表 機労材構成比情報
CB430310 補装版破碎

1 m2 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 吐出量3.5～3.7m ³ /min	L001090003		【賃料】		L001090003
さく岩機(コンクリートブレーカ) 20kg級	M000603016		【損料】		M000603016
特殊作業員	R0101				R0101
普通作業員	R0102				R0102
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円／m ²	
条件名称	入力値		条件値		
J01 補装版種別	1		アスファルト補装版		
J02 障害等の有無	2		有り		
J04 補装版厚	5		4cm以下		
J06 積込作業の有無	1		有り		
J07 費用の内訳	1		全ての費用		

第0011号 単価表 機労材構成比情報
CB227010 賦運搬

1 m3 当り
適用年版 T0712

名称／規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オシロート・ティ・イ・セ・ル] 2t積級	MP03010010		【損料】		M000301001
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m3	当たり		円／m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 賦発生作業	3		舗装版破碎		
J02 積込工法区分	4		機械積込(小規模土工)		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J10 運搬距離(km) (DID区間有)	12		15.0km以下		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0012号 単価表
WB821210 区画線設置

1,000 m 当り
適用年版 T0712

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001036025) 区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 破線15cm 制約無	1,000	m			[2]
(Z004350001) トロフィックヘイント 溶融型 3種1号 ピース 15~18 白	570	kg			[1]
(Z004352001) ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25	kg			[1]
(Z004354001) 接着用プライマー 区画線用	25	kg			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計	1	m			円／m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 夜間作業の有無	1		無し		
J02 施工方法区分	1		溶融式手動		
J03 豪雪補正の有無	1		無し		
J04 規格・仕様区分	5		破線 15cm		
J05 時間的制約の有無	1		無し		
J06 塗布厚	1		1.5mm		
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1		無し		
J08 未供用区間の場合の補正	1		無し		
J09 溶融式塗料規格	1		含有量15~18%		
J11 塗料区分	1		白		
J12 プライマー規格	1		アスファルト舗装		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0013号 単価表
WB821210 区画線設置

1,000 m 当り
適用年版 T0712

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001036073) 区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	1,200	m			[2]
(Z004350009) トロフィックペイント 溶融型 3種1号 ピース 15~18 黄 鉛・クリー	684	kg			[1]
(Z004352001) ガラスビーズ 0.106~0.850mm	30	kg			[1]
(Z004354001) 接着用プライマー 区画線用	30	kg			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計	1	m			円／m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 夜間作業の有無	1		無し		
J02 施工方法区分	1		溶融式手動		
J03 豪雪補正の有無	1		無し		
J04 規格・仕様区分	13		矢印・記号・文字 15cm換算		
J05 時間的制約の有無	1		無し		
J06 塗布厚	1		1.5mm		
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1		無し		
J08 未供用区間の場合の補正	1		無し		
J09 溶融式塗料規格	1		含有量15~18%		
J11 塗料区分	2		黄 鉛・クリムクリー		
J12 プライマー規格	1		アスファルト舗装		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0014号 単価表
WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り
適用年版 T0712

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) $\Sigma [1]$		式			
	1				
合 計		人日			円／人日
	1				

登録單価一覽表

総 量 集 計 表 (参考) [労務費]

総量集計表(参考) [資料単価]

総量集計表(参考) [仮設材単価等]

総 量 集 計 表 (参考) [市場単価・標準単価]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [労務費]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [資材単価]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [機械器具損料]

施工パッケージ材料集計表

単価コード	単価名称	標準単価	材料率(%)	数量	材料分金額	条件情報
CB430510	舗装版切断			27		J01=アスファルト舗装版 / J02=15cm以下 / J05=全ての費用
CB440500	舗装版破碎積込(電線共同溝工)			91		
CB227010	殻運搬			4		J01=吹付法面とりこわし(モルタル) / J02=機械積込 / J03=有り / J12=12.0km以下 / J13=全ての費用
CB210030	床掘り			18		J01=土砂 / J02=上記以外(小規模) / J05=全ての費用
CB210110	土砂等運搬			18		J01=小規模 / J02=パックボウル積0.28m ³ (平積0.2m ³) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J14=12.0km以下
CB410010	不陸整正			1		J01=有り / J02=46mm以上53mm未満 / J03=再生粒度調整碎石 RM-40 / J04=全ての費用
CB410040	上層路盤(車道・路肩部)			90		J01=再生粒度調整碎石 RM-40 / J03=mm / J04=mm / J05=mm / J06=200 mm / J07=2層施工 / J09=全ての費用
CB410260	表層(車道・路肩部)			91		J01=1.4m以上3.0m以下 / J02=mm / J03=mm / J04=50 mm / J05=各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満) / J06=プライムコート PK-3 / J07=全ての費用
CB410261	表層(歩道部)			10		J01=1.4m未満(仕上厚50mm以下) / J02=25 mm / J03=mm / J04=mm / J05=各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満) / J06=無し / J07=全ての費用
CB430310	舗装版破碎			10		J01=アスファルト舗装版 / J02=有り / J04=4cm以下 / J06=有り / J07=全ての費用
CB227010	殻運搬			0.3		J01=舗装版破碎 / J02=機械積込(小規模土工) / J03=有り / J10=15.0km以下 / J13=全ての費用
合計						

数量総括表(1/1)

工種	規格・寸法	数量	単位	備考
準備工				
舗装版切断	As 15cm以下	27	m	別添数量計算書(1/2)参照
舗装版破碎積込	As舗装	91	m ²	別添数量計算書(1/2)参照
殻運搬	As殻 DID区間有 L=11.5km	4	m ³	別添数量計算書(1/2)参照
廃材処理料(東部地区)	As殻	4	m ³	別添数量計算書(1/2)参照
土工				
床掘り	路盤材 BH0.28m ³	18	m ³	別添数量計算書(1/2)参照
土砂等運搬	L=11.5km DID区間有	18	m ³	別添数量計算書(1/2)参照
廃材処理料(東部地区)	路盤材	18	m ³	別添数量計算書(1/2)参照
舗装工				
不陸整正工	再生粒度調整碎石(RM-40) t=50	1	m ²	別添数量計算書(1/2)参照
路盤工	再生粒度調整碎石(RM-40) t=200	90	m ²	別添数量計算書(1/2)参照
表層工	再生密粒度As(13) t=50	91	m ²	別添数量計算書(1/2)参照
段差摺付工	再生密粒度As(13) 平均t=25	10	m ²	別添数量計算書(1/2)参照
段差摺付舗装版撤去		10	m ²	別添数量計算書(2/2)参照
殻運搬	As殻 DID区間有 L=11.5km	0.3	m ³	別添数量計算書(2/2)参照
廃材処理料(東部地区)	As殻	0.3	m ³	別添数量計算書(2/2)参照
区画線工				
区画線工	白色、破線 15cm	8	m	別添数量計算書(2/2)参照
区画線工	黄色、文字 15cm換算	19	m	別添数量計算書(2/2)参照
仮設工				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	10	人日	別添数量計算書(2/2)参照

数量計算書(1/2)

種別	略図計算式	数量
準備工		
1. 補装版切断 As(15cm以下)	起点 終点 縦断 5.40 + 5.30 + 17.20 合計 =	27.90 m 27.9 m
2. 補装版破碎積込 As補装	補装面積集計表より 91.68 合計 =	91.68 m ² 91.7 m ²
3. 製運搬 As殻,DID区間有,L=11.5km	2. 補装版破碎より 91.68 × 0.05 合計 =	4.58 m ³ 4.6 m ³
4. 廃材処理料(東部地区) As殻	5. 製運搬より 4.58 合計 =	4.58 m ³ 4.6 m ³
土工		
1. 床掘り 路盤材、BH0.28 m ³	補装面積集計表より 90.60 × 0.2 合計 =	18.12 m ³ 18.1 m ³
2. 土砂等運搬 L=11.5km,DID区間有	1. 床掘りより 18.12 合計 =	18.12 m ³ 18.1 m ³
3. 廃材処理料 路盤材	2. 土砂等運搬より 18.12 合計 =	18.12 m ³ 18.1 m ³
舗装工		
1. 不陸整正工 再生粒度調整碎石(RM-40)	3. 表層工より 2. 路盤工より 91.68 - 90.60 合計 =	1.08 m ² 1.1 m ²
2. 路盤工 再生粒度調整碎石(RM-40)	舗装面積集計表より 90.60 合計 =	90.60 m ² 90.6 m ²
3. 表層工 再生密粒度As(13)	舗装面積集計表より 91.68 合計 =	91.68 m ² 91.7 m ²
4. 段差摺付工 再生密粒度As(13)	起点 終点 幅 (5.40 + 5.30) × 1.00 合計 =	10.70 m ² 10.7 m ²

数量計算書(2/2)

種 別	略 図 計 算 式	数 量
5. 段差摺付舗装版撤去	4. 段差摺付工より 10.70 合 計 =	10.70 m ² 10.7 m ²
6. 裸運搬 As殻,DID区間有,L=11.5km	5. 段差摺付舗装版撤去より 面積 平均厚さ 10.70 × 0.025 合 計 =	0.27 m ³ 0.3 m ³
7. 廃材処理料(東部地区) As殻	6. 裸運搬より 0.27 合 計 =	0.27 m ³ 0.3 m ³
区画線工		
1. 区画線工 白色、破線、15cm	5.00 + 3.00 合 計 =	8.00 m 8.0 m
2. 区画線工 黄色、文字、15cm換算	30km標示 19.34 合 計 =	19.34 m 19.3 m
仮設工		
1. 交通誘導警備員 交通誘導警備員B	交通誘導警備員算定表より 10 合 計 =	10.00 人日 10.0 人日

舖裝面積集計表

路盤工

測點	距離	幅員	平均幅員	面積	備考
No.0		5.40			
No.0 + 10.00	10.00	5.30	5.350	53.50	
No.0 + 17.00	7.00	5.30	5.300	37.10	

合計 90.60

表層工

測點	距離	幅員	平均幅員	面積	備考
No.0 - 0.20		5.40			
No.0	0.20	5.40	5.400	1.08	
No.0 + 10.00	10.00	5.30	5.350	53.50	
No.0 + 17.00	7.00	5.30	5.300	37.10	

合計 91.68

交通誘導警備員数量表

工種・種別	規格・寸法	単位	数量	施工量 日当り	施工日数		配置人員 b 交通誘導警備員B 交替要員ありの場合 b+1	人員 a'×b
					a	a'		
準備工								
舗装版切断	As 15cm以下	m	27					
舗装版破碎積込	As舗装	m ²	91					
土工								
床掘り	路盤材 BH0.28m ³	m ³	18					
舗装工								
不陸整正工	RM-40 t=50	m ²	1					
路盤工	RM-40 t=200	m ²	90					
表層工	再生密粒度As(13) t=50	m ²	91					
段差摺付工	再生密粒度As(13) 平均t=25	m ²	10					
段差摺付舗装版撤去		m ²	10				2 + 1	
区画線工								
区画線工	白色、破線 15cm	m	8					
区画線工	黄色、文字 15cm換算	m	19				1	
交通誘導警備員合計	合計人員 =							10

【本工事における特記仕様書の一覧表】

	特記仕様書の名称	備考
1	特記仕様書	
2	建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書	
3	建設副産物実態調査に係る特記仕様書	
4	週休2日制確保工事に関する特記仕様書(土木工事)	

特記仕様書

本仕様書は、令和7年度 市道32号道路修繕工事に適用するものとする。

1. 請負者は、速やかに施工計画書を作成し、監督員に提出すること。
2. 本工事において、この特記仕様書によらないものについては「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」を遵守すること。
なお、土木工事共通仕様書は令和6年11月、土木工事施工管理基準は令和4年4月に改正となつたため注意すること。
3. 本工事において、請負者は設計計画図を基にした丁張を掛け監督員の確認を受けるものとする。
なお、工事中に変更を指示された場合、その都度、実施計画図を作成し監督員の承諾を得るものとする。
4. 請負者が実施する測量、設計等に要する費用は準備費、技術管理費及び現場管理費に含まれているので別途計上はしない。
5. 請負者は、周辺住民に与える建設公害等を極力軽減するように配慮した上で資機材、建設発生土等の運搬経路、資材の仮置場、工事区域を区分する保安施設等の設置箇所、工事期間、施工方法等について十分に検討を行い、周辺住民に周知を図るものとする。
6. 請負者は、本工事施工にあたり公道、公共用地及び民有地等を利用して工事を行う場合は各所有者及び管理者の承諾を得なければならない。
また、上記の用地を利用した場合、原則として工事完了後に請負者の責任を持って現況に復旧すること。
7. 建設廃材処理については、所定の様式に必要事項を漏れなく記載し提出すること。

建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設工事から発生する廃棄物についての取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に関する事項を定めるものである。

I. 総則

1 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化 分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
 - ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
 - イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材 「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物適正処理・再資源化に関する事項

工事の施工等にあたっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

1 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、再資源化等の中心的役割を担うものとして、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 廃棄物処理計画等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

《下請契約》

- (3) 工事の一部を下請発注し、生じた建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託の契約をすること。
- (4) 建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。

《再生品の利用》

- (5) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材については、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。
 - ア 道路等の舗装の路盤材は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく神奈川県県土整備局の指定するコンクリート塊等処理指定工場から再生砕石等を調達すること。
 - イ 道路舗装材には、「工事における環境配慮型公共工事の推進に関する特記仕様書」を参考に、再生加熱アスファルト混合物等の利用に努めること。
 - ウ この他、コンクリート型枠材としてのパーティクルボード(ストランドボード)等エンジニアードウッドの利用、法面の緑化材、雑草防止材等としての再生木質マルチング材等の利用を積極的に提案すること。

2 施工に関する事項

建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等関係法令の遵守を徹底するとともに、アスベスト、CCA処理木材、フロン類、非飛散性アスベスト、PCB等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

《発生抑制》

- (1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考にして、積極的な提案を行うこと。
- ア 使用済コンクリート型枠の再使用
 - イ コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破碎による路盤材等への再生利用
 - ウ 建設汚泥の現場内での脱水、固化等による盛土材等への再生利用

《再資源化等》

- (2) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再資源化施設等の搬入するとともに、再生資源の活用に努めること。
- (3) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として神奈川県県土整備局が指定するコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。
- (4) 建設発生木材等は、原則として神奈川県県土整備局が指定する事業者の指定施設へ搬入すること。
- (5) その他の建設廃棄物(特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物)についても、可能な限り再資源化等に努めること。

《適正処理》

- (6) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。
- (7) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。
 - ア 運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。
 - イ 適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。
 - ウ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、最終処分(再生を含む。)が完了したことを確認すること。

3 施工の完了後に行う事項

コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊については、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、当該工事で発生したコンクリート塊等の指定工場への搬入を完了した時は、速やかにコンクリート塊等搬入完了報告書に指定工場の証明を受けて監督員に報告すること。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設副産物実態調査に関する事項を定めるものである。

I. 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化 分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
 - ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
 - イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材 「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

1. 元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事(小規模工事等又は調査対象となる建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出が無い工事は除く)は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用{促進}計画書(実施書)の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備考
搬入する建設資材	コンクリート	生コンクリート、コンクリート二次製品(有筋、無筋)など
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	山砂、建設発生土、土質改良土、建設汚泥処理土、再生コンクリート砂(RC-10)など
	碎石	鉱さい、クラッシャーラン、ぐり石など
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
搬出する建設副産物	その他の建設資材	
	コンクリート塊	
	建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事(工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。)に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
搬出する建設副産物	混合状態の廃棄物(建設混合廃棄物)	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト(飛散性)	
その他の分別された廃棄物		
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土(建設汚泥を除く)		

2. 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報統合センターのホームページ【<http://www.recycle.jacic.or.jp/>】から建設副産物情報交換システムにログインする。
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。(「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式一」の作成)
- (3) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。
- (4) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
- (5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督員に提出する。

3. データ入力上の留意点

- (1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山m3」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締めm3」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100m3 (地山m3)

埋戻し 20m3 (締固めm3) 「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22m3 (地山m3) 「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20m3／変化率C(仮に0.9とする)=22m3

処分 78m3 (地山m3) 「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

100m3-22m3=78m3

- (2) 建設資材利用について

ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。

・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県県土整備局建設リサイクル資材認定資材一覧表(以下、認定一覧表という)を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目 (建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土砂(建設汚泥処理土)	再生改良土
	再生流動性埋戻材
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
碎石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック(平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
	再生骨材コンクリート
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※ 再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。
ウ RC-10(再生砂)を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

- (3) 建設副産物発生・搬出(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材A・B、建設汚泥、建設発生土(第一種～第四種建設発生土及び浚渫土))について
- ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。
- イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを県土整備局の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの)」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。
- ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を県土整備局の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物になったもの)」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。
- エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。
- オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある決定)」と選択する。
- カ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「6 ストックヤード(工事予定地含む)(再利用の目的がある)(国登録ストックヤード)」または「7 ストックヤード(工事予定地含む)(再利用の目的がある)(国登録ストックヤード以外)」と選択する。

週休 2 日制確保工事に関する特記仕様書（土木工事）

1 週休 2 日制確保工事について

- ・ 本工事は、「三浦市週休 2 日制確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。
- ・ 試行要領や提出書類等は、下記のホームページから入手すること。

＜入手先＞

三浦市ホームページ（週休 2 日制工事）

https://www.city.miura.kanagawa.jp/shigoto_sangyo_machizukuri/nyusatsu_keiyaku/11074.html

2 週休 2 日制確保工事実施の内容

- ・ 受発注者は、工事着手前の施工計画書作成段階において、工期全体に影響を与える事項について情報共有することとする。
- ・ 受注者は、毎週、先週の実績と今週の計画工程を示した週間工程表を監督員に提出する。
- ・ 受注者は、当月分の「現場閉所実績報告書」（別紙 1）を、翌月の 5 日までに監督員に提出する。
- ・ 受注者は、原則として、工事完成届提出日の 20 日前までに、最終月の「現場閉所実績報告書」（別紙 1）及び対象期間全体の「現場閉所履行報告書」（別紙 2）を作成し、監督員へ提出する。
- ・ 受注者は、公衆の見易い場所に、週休 2 日制確保工事である旨を明示する。記載内容は次の例を基本とし、大きさは A3 サイズ以上とする。

記載内容の例

週休 2 日制に取り組む工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休 2 日の確保に取り組む工事です。

発注者： 三浦市

施工条件明示書

工事名：令和7年度 市道32号道路修繕工事

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容		関連特記仕様書等	
工程関係	<input type="checkbox"/>	1. 他の工事の開始又は完了の時期による影響	影響が生じる他の工事 令和 年度 影響箇所 影響する内容 他の工事の開始時期 令和 年 月 日 他の工事の開始時期 令和 年 月 日			
	<input type="checkbox"/>	2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限	制限を受ける施工内容 制限を受ける施工時期 制限を受ける施工時間 開始 時 分 から 時 分 まで 制限を受ける施工方法			
	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 関係機関等との協議の未成立	未成立協議内容 道路使用許可申請書、道路工事届出書 協議成立見込み時期			
	<input type="checkbox"/>	4. 関係機関等との協議した結果、工程に影響を及ぼす項目と範囲	影響項目 影響範囲			
	<input type="checkbox"/>	5. 余裕工期を設定した場合の工事の着手時期	全体工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 着手時期 令和 年 月 日 留意事項			
	<input type="checkbox"/>	6. 地下埋設物・埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間	地下埋設物・埋蔵文化財の種類	事前調査・移設の期間		
				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
	<input type="checkbox"/>	7. 設計上見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数	休日日数等以外の作業不能日数	内 容		
用地関係	<input type="checkbox"/>	1. 工事用地等の未処理部分	場 所	範 囲	処理の見込み時期	
					令和 年 月 日頃	
					令和 年 月 日頃	
					令和 年 月 日頃	
	<input type="checkbox"/>	2. 工事用地等の使用終了後における復旧内容	復旧場所 面積等数量 復旧方法 復旧における条件			
	<input type="checkbox"/>	3. 工事用仮設道路・資器材置場用の民有地等の借地	使用目的 使用場所 使用範囲 使用時期 令和 年 月 日頃 使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
	<input type="checkbox"/>	4. 発注者が借り上げた土地の使用	使用目的 使用場所 使用範囲 使用時期 令和 年 月 日頃 使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			

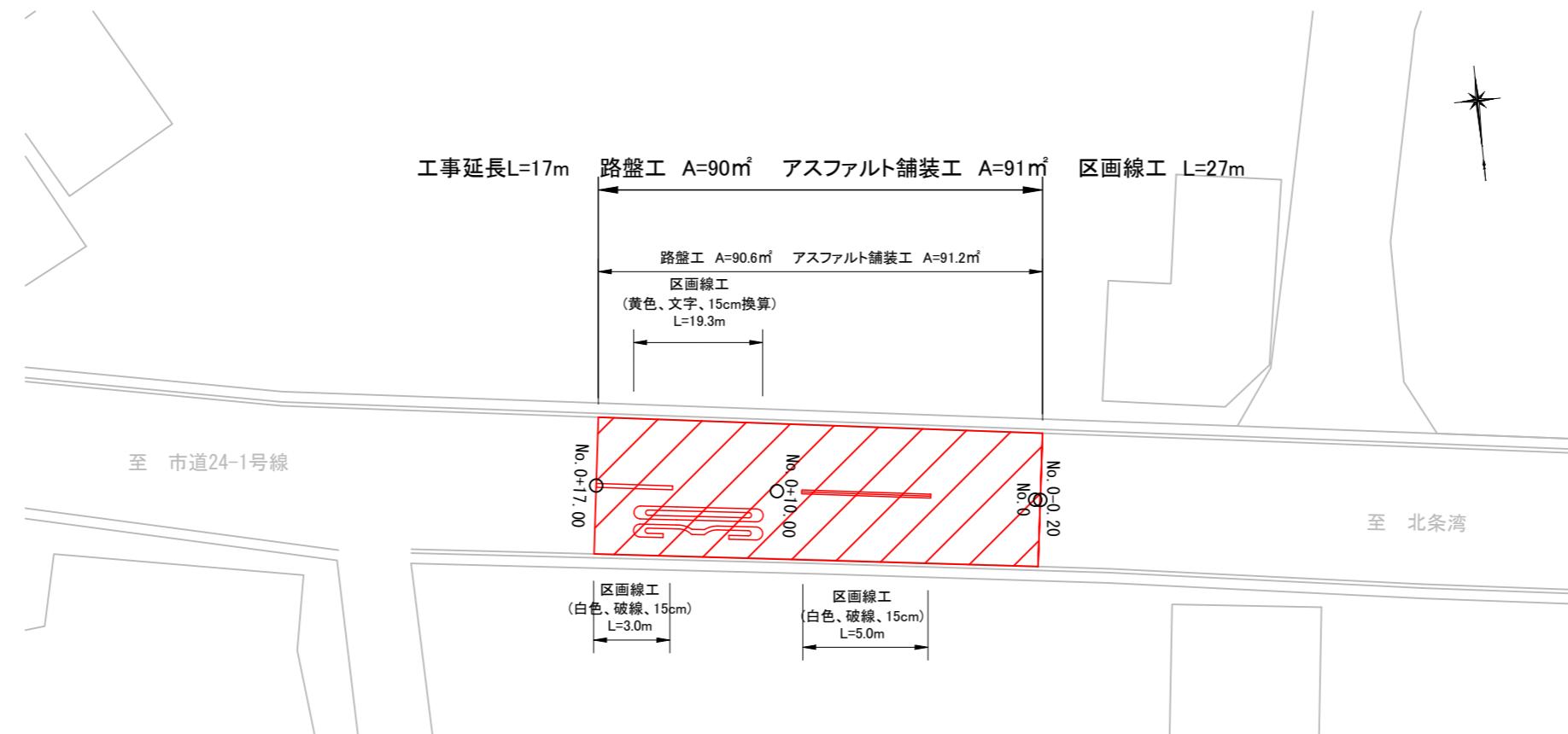
明示項目	対象の有無	明示事項	内 容				関連特記仕様書等			
公害関係	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）対策	対象となる工種	工事全般						
	<input type="checkbox"/>	2. 水替え・流入防止施設	施工方法の制限	機械施設の制限						
	<input type="checkbox"/>	3. 濁水、湧水等の処理対策	作業時間の制限	排出ガス対策型、低騒音						
	<input type="checkbox"/>	4. 事業損失防止関係	開始 時 分 から 時 分 まで							
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 交通安全施設等の指定	対象工種	処理方法		備 考				
	<input type="checkbox"/>	2. 近接工事での施工方法、作業時間等の制限								
	<input type="checkbox"/>	3. 落石、土砂崩落等に対する防護施設								
	<input checked="" type="checkbox"/>	4. 交通誘導員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	調査対象	事前・事後	調査範囲 対象件数	調査方法				
	<input type="checkbox"/>	5. 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	交通安全施設	工 種	設置期間	内 容				
	<input type="checkbox"/>		警察協議による指示	工事全般						
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
工事用道路関係	<input type="checkbox"/>	1. 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	保安要員種別	規制等方法	交代要員	配置時間帯	人員数・規格			
	<input type="checkbox"/>		交通誘導警備員B(昼)	片側交互通行	有を含む	9:00~17:00	1~2人日			
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>	2. 搬入路の使用中及び使用後の処置	危険要因	工 種	危険防止対策の工法内容、設備の規格・規模					
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>	3. 仮設道路の設置	搬入経路	使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日						
	<input type="checkbox"/>		使用時間帯	開始 時 分 から 時 分 まで						
	<input type="checkbox"/>									

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容	関連特記仕様書等																														
仮設備関係	<input type="checkbox"/>	1. 仮設備（仮土留、足場等）の他の工事への転用もしくは兼用	<p>【他工事へ引き渡す場合】</p> <p>仮設物の内容 引き渡し時期 令和 年 月 日頃 維持管理等条件</p> <p>【引き継いで使用する場合】</p> <p>仮設物の内容 引き継ぎ時期 令和 年 月 日頃 確認事項 条件等</p>																															
	<input type="checkbox"/>	2. 仮設備の構造及び施工方法の指定	仮設備の構造 仮設備の施工方法																															
	<input type="checkbox"/>	3. 仮設備の設計条件の指定	指定内容																															
建設副産物関係	<input type="checkbox"/>	1. 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、保管条件	<p>指定処分の有無 有・無</p> <p>指定処分の場合の受入地</p> <p>仮置きの有無・距離 有・無 km</p> <p>仮置き場の選定条件</p>																															
	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 建設副産物及び建設廃棄物の処理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>受入場所</th> <th>運搬距離</th> <th>受入条件</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>As殻</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考	As殻					路盤材																				建設副産物実態調査に係る特記仕様書
名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考																														
As殻																																		
路盤材																																		
工事支障物件等	<input type="checkbox"/>	1. 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支障物件</th> <th>占用者</th> <th>移設・撤去・防護の時期</th> <th>移設・撤去・防護の期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																											
支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																															
	<input type="checkbox"/>	2. 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	<p>占用物件工事の有無 有・無</p> <p>占用者</p> <p>工事期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p>																															
薬液注入関係	<input type="checkbox"/>	1. 薬液注入工法の施工	<p>工法区分 材料種類 施工範囲 孔数量 注入量</p>																															
	<input type="checkbox"/>	2. 周辺環境への調査																																
その他	<input type="checkbox"/>	1. 工事用資機材の保管及び仮置き	<p>工事用資機材名称 保管・仮置き場所 保管・仮置き期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p>																															

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容					関連特記仕様書等
	<input type="checkbox"/>	2. 工事現場発生品	現場発生品	再利用の有無	数量	引渡し場所	運搬距離	
	<input type="checkbox"/>	3. 支給材料及び貸与品	支給・貸与品名称 数量・品質 規格又は性能 引渡し期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					
	<input type="checkbox"/>	4. 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等						
	<input type="checkbox"/>	5. 架設工法の指定	施工方法 施工条件					
	<input type="checkbox"/>	6. 工事用電力等の指定						
	<input type="checkbox"/>	7. 新技術・新工法・特許工法の指定	工法名称 内容					
	<input type="checkbox"/>	8. 部分使用	使用箇所 使用時期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					
	<input type="checkbox"/>	9. 給水の必要	取水箇所 方法等					
	<input type="checkbox"/>	10. 地元調整						
	<input checked="" type="checkbox"/>	11. 検査日程	検査日程については工期 1 週間前を原則とする。					
	<input type="checkbox"/>							
	<input type="checkbox"/>							

※上記以外に条件明示が必要な場合は、追加して条件を明示すること。

平面図 S=1:250



標準断面図 S=1:25

No. 0+10.0

